(重	助物	管理	専門課程 動	物共生研究科)令和7年度											
	分類	Į						授	授業方法			場所		員	
必修	択必		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教 育を学ぶ。	1 通	36		0			0			0	0
0			パソコン演習	パソコンの基本操作を通じ、情報の整理・加工・発信の技術を身につける。 3年次には、実社会で通用するパソコン技 術の取得を目指す。	2 3 通	70			0		0			0	
0			販売小売学	小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧 客心理などの基礎知識を学ぶ。	2 通	34		0			0			0	0
0			合宿研修 《特別授業》	軽井沢研修所で社会人として基本的な団体 行動のマナーや、仲間との共同作業を体験 する。		72				0		0	0		
0			生命倫理・動 物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉 について学ぶ。	1 通	36		0			0			0	0
0			動物形態機能 学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1	144		0			0				
0			動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。		36		0			0				
0			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学 び、問題行動の原因と対処、予防法を理解 する。		36		0			0			0	0
0			動物栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。	2	72		0			0			0	0

	(動物管理専門課程 動物共生研究科) 令和7年度														
	分類	Į						授業方法			場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
0			比較動物学	飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼育管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。	2 3 通	70		0			0				
0			動物看護関連 法規	動物看護に関連する基本的な法規について 学び、社会における愛玩動物看護師の役割 を理解する。	1 通	18		0			0				
0				動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な 法規について学び、人と動物の共生のあり 方等を理解する。	2 後	18		0			0				
0			動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理 について学び、専門職としての社会的責務 を理解し職業意識を形成する。		36		0			0				
0			動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を 学び、病態について理解する。	1 後	36		0			0				
0			動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床 応用及び副作用について学び、動物の疾病 の診断や治療にどのように用いられるかを 理解する。	2	72		0			0				
0			動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。	1	108		0			0			0	0
0			公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1 2 通	72		0			0			0	

(]	协物	管理	専門課程動	物共生研究科)令和7年度	1	ı	1	1			1				
,	分類	Į		Į.	配	授		授業方法			場	所	教	員	企
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	当年次・学期	2 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任	兼任	業等との連携
0			動物内科看護 学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、 身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像 診断に必要な検査、所見の記録等について 理解する。	1後 2通	108		0			0				
0			動物外科看護 学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、 術前準備から術中補助、術後管理までの周 術期の流れを系統的に理解し、安全な手術 の実施に必要な知識を修得する。		72		0			0				
0			動物臨床看護 学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の 基本的な考え方を修得する。	2 通	36		0			0				
0			動物臨床看護 学各論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごと の個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え 方を修得する。	2 3 通	140		0			0				
0			動物臨床検査 学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学 び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解 する。	1 通	36		0			0				
0			愛玩動物学	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、 適切な飼育管理方法について理解する。	2 3 通	70		0			0				
0			コミュニケー ショントレー ニング	実社会で必須な話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎を身につけ、身だしなみやふるまいを含めた飼主応対やスタッフ間での接し方を学ぶ。カルテをはじめとした情報の記録・管理、電話応対、会計業務などの院内業務について習得する。また、対人関係スキルの向上を目指す。	1 2 3 通	212				0	0		0		

〔重	协物	管理	専門課程動	物共生研究科)令和7年度				1			1		1		
:	分類	į			配	授		授業方法			場	所	教	員	企
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	1当年次・学期	2 業 時 数	単 位 数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
0				各犬種のトリミングに必要な技法を細部に わたって学ぶ。	1 通	36			0		0		0		
0			アニマルアロ マ概論	ペットに対してのアロマテラピーの基礎お よび、精油の効用を学ぶ。	3 通	34		0			0			0	
0			動物美容実習	器具の使い方、各犬種のスタンダードを学び、実際に犬に触れて基本的なグルーミングを習得する。		458				0	0		0	0	0
0			動物行動実習	犬の行動様式、学習原理を理解したうえで、基本的なしつけトレーニングを実践する。診療時における誤った行動の学習を防ぎ、適切な対応ができるようになる。また飼主が犬との良い関係が構築されるよう、トレーニング法と問題行動の予防方法を説明・指導できるように実践的に学習する。	3	280				0	0			0	0
0				犬や猫の身体を構成する骨・筋・内臓器官 の位置と相関関係を骨格標本、臓器模型な どにより理解を深める。また、健常な主要 臓器の組織像についても学ぶ。		36				0	0			0	0
0			動物内科看護 学実習	動物内科看護学で学んだ知識を基に、動物 の状態を的確に把握する能力を養い臨床で 必要な看護技術を実践する。	1通 2前	216				0	0			0	0
0			動物臨床検査 学実習	血液検査・糞便検査・尿検査などの診断へ と導く重要な検査についての意義を理解 し、技術を修得する。	1通 2前 3後	108				0	0		0	0	0
0			動物愛護・適 正飼養実習	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや 飼い主とのコミュニケーションなど、愛 護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知 識の実践力を習得する。	3	70				0	0			0	

	(動物管理専門課程 動物共生研究科)令和7年度 分類 ┃																						
	分類	į						授業ス		授業方法			教員]]								
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任	兼任	企業等との連携								
0			建築・住環境 実習	動物の行動学に基づき、人と動物が快適に 生活するための知識を習得する。また、福 祉と動物と住環境を考え、福祉住環境コー ディネーター3級の合格を目指す。	3 通	102				0	0			0	0								
0			ボームベル パー理論・動 物介在実習	高齢者や障害を持つ人の在宅介護および動物介在活動に必要な専門知識と技術を身につけ、福祉に関するの総合的能力を理解し、動物業界における福祉の必要性を学ぶ。また、介護職員初任者研修の取得を目指す。	3	272		Δ		0	0			0									
0			動物管理実習	動物の身体的・心理的健康に努め、環境整備、衛生管理を実践し適正飼養の知識と技術を体得する。また動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を養い、飼主への指導に活かす。	2	120				0	0		0										
0			動物看護総合 実習	動物病院の実務を体験し、動物関連の業務 及び動物の習性・特徴等を習得する。併せ て、通常の授業では学ぶことの出来ない社 会の規律を体得する。	2	180				0		0	0		0								
		0	国内研修	国内の動物関連施設を実際に訪れ、学内で は経験できないことを自ら進んで体験し、 動物分野の理解をより一層深める。	1 2 3 通	108				0		0	0										
		0	海外研修	動物分野において先進国である欧米諸国の動物関連施設を訪れ、最先端の技術・施設等を目の当たりにすることで見識を深める。また、日本との違いを直接肌で感じることで自己向上意欲を高め、今後に役立てる。	1 2 3	216				0		0	0										
			校外研修	様々な動物関連施設の実務を体験し、動物 関連の業務及び動物の習性・特徴等を習得 する。併せて、通常の授業では学ぶことの 出来ない社会の規律を体得する。	2 3 通	126				0		0	0		0								
		í	合計	39科目					31	80单	位氏	間(合計 39科目 3180単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
①指定の課程において履修すべき全科目に合格すること。②指定の課程において所定の技能検 定試験に合格し、登録すること。③履修期間の出席日数は、80%以上であること。④学習態 度を勘案し、人格品性共に社会人としての資質を有すると認められること。⑤納入すべき所定	1 学年の学期区分	2期			
及を割果し、人情的に共に社会人としての負責を有すると認められること。 ② 耐入すべる 別と の費用を期日までに全納すること。	1 学期の授業期間	18週			

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。